



第2回全国屈指福祉会。各部署の報告が行われた

高齢者支援部会では、市内で暮らす独居高齢者の実態を把握した情報のデータベース化や、75歳までの雇用を実現するため、高齢者のニーズ調査を実施するなどの案。医療体制整備部会では、市内外の病院との連携の推進、救急医療体制の充実への支援、大病院から在宅へつなげるための民間による回復期病床の整備などの案。発達障がい児支援部会では、発達障がい児の

2 回目となった全国屈指福祉会議が1月29日に総社市保健センターで開催され、「高齢者支援部会」、「医療体制整備部会」、「発達障がい児支援部会」、「待機児童ゼロ部会」の各部署から検討した施策の報告が行われました。

個に応じた指導と支援を充実させるため、総社北小学校に特別支援教育推進センター（仮称）を設置。平成29年に通級指導教室を開始する案。待機児童ゼロ部会では、3年以内の待機児童ゼロを目指し、平成28年度は、小規模保育と事業所内保育で57人の定員を確保しつつ、平成29年度に向けた保育確保の方針として、新設私立保育所の整備と民間保育所の定員を増員する案が同意されたことが報告されました。

今後はこれらの施策の具体化に向け、各部署を中心にさらに協議を進めていきます。

問い合わせ 政策調整課 (☎8213)

第2回全国屈指福祉会

総社流 福祉先駆都市実現施策まとまる

第2次総社市総合計画で、市の目指す将来像が「全国屈指の福祉文化先駆都市」と決定。最重要課題である福祉先駆都市の早期実現のため、各部署が施策を取りまとめました。

福祉先駆都市に向けた平成28年度新規施策一覧

- ひとり暮らし高齢者見守り支援台帳
高齢者などの実態把握の情報をデータベース化し、支援に活用
- 住宅リフォーム助成
福祉的住宅リフォーム助成を実施
高齢者などの各福祉制度の非該当者が対象
- 75歳社会の実現（高齢者雇用の促進）
平成28年にワンストップ拠点を作ることを目標に、高齢者のニーズ調査のため、アンケートを実施
- 「特別支援教育推進センター（仮称）」の創設
発達障がい児支援のための特別教育推進センター（仮称）を創設
全保育所（園）、幼稚園、小中学校への巡回相談を実施
- 教育特区の新設
新本・池田地区に新たな教育特区を新設

- …高齢者支援部会 ●…医療体制整備部会
- …発達障がい児支援部会 ■…待機児童ゼロ部会
- 地域完結型医療体制の整備
民間による回復期・救急医療体制の整備を支援
- 救急医療体制の維持
市内の救急医療体制を維持するための整備を支援
- 救急車に台帳データを搭載
高齢者などの見守り支援台帳のデータを救急時に活用
- 小規模保育・事業所内保育
小規模保育・事業所内保育の実施
- 幼稚園の預かり保育などの拡充
幼稚園での預かり保育の拡充
保育所（園）においては、育休退園を廃止
- 私立保育所施設整備助成
民間による保育所の新設を補助
保育所（園）の定員増のための改築補助

総社市の人口が増加！！

総社流の施策で

人口が増え続けるまちに

	人口総数(人)	増減数(人)	増減率(%)
岡山県	1,922,181	▲23,095	▲1.2
総社市	66,888	687	1.0
岡山市	719,584	10,000	1.4
倉敷市	477,435	1,922	0.4
津山市	103,714	▲3,074	▲2.9
玉野市	60,782	▲3,806	▲5.9
笠岡市	50,593	▲3,632	▲6.7
井原市	41,419	▲2,508	▲5.7
高梁市	32,091	▲2,872	▲8.2
新見市	30,677	▲3,193	▲9.4
備前市	35,207	▲2,632	▲7.0
瀬戸内市	36,983	▲869	▲2.3
赤磐市	43,218	▲240	▲0.6
真庭市	46,137	▲2,827	▲5.8
美作市	27,956	▲2,542	▲8.3
浅口市	34,256	▲1,858	▲5.1

県内15市別の人口増減（増減数・増減率は平成22年と比べた数値、▲はマイナス）

平成27年国勢調査（昨年10月1日現在）の速報値を、県が1月29日に公表しました。ほとんどの市町村で著しい人口減少が見られるなか、総社市は5年前と比べ、人口が増加し、増減率では岡山市に続き県内で2位となりました。福祉施策や子育て支援、企業誘致などのさまざまな総社流の施策が人口増につながったと考えられます。今後も市民一人ひとりが住みやすいまちづくりを進め、活気あふれる総社市を目指します。

問い合わせ 政策調整課 (☎8213)

	増加数		増加率	
	市町村名	人	市町村名	%
1	岡山市	10,000	岡山市	1.4
2	倉敷市	1,922	総社市	1.0
3	総社市	687	倉敷市	0.4
4	里庄町	21	里庄町	0.2

県内で人口の増加が大きい市町村。（増加数・増加率は平成22年と比べた数値）

魅力あふれるまちを目指した総社流施策



子育て支援

子育て王国そうじゃを掲げ、さまざまな子育て支援を行ってきました。4月1日からは、育休退園制度を廃止します。また、小規模保育や事業所内保育、幼稚園の預かり保育などを充実させ、さらに子どもを育てやすい環境づくりを行っていきます。



福祉施策

障がい者千人雇用を平成23年4月から始め、1月1日時点での就労数は894人。市では今後、『全国屈指の福祉文化先駆都市』の実現を目指し、さらに福祉施策を充実させ、社会のなかで本当に困っている人を支える体制づくりを進めます。



企業誘致

企業誘致・進出が進み、2年以内に長良地内と中原地内だけで雇用が3500人増える見込みです。今後、岡山県立大学周辺や吉備線沿線の土地活用について、国や県に粘り強く訴えていき、新たなランドデザインを描いていきます。